

# 愛知県水道用水供給事業の進め方に関する研究会（第2回）議事要旨

## 1 第2回研究会要旨

### (1) 日時

平成24年3月22日（木）午前10時 ～ 午前11時45分

### (2) 場所

アイリス愛知

### (3) 出席者

（委員） 大藪千穂委員、富永晃宏委員、中山恵子委員  
松尾直規委員、山田俊郎委員

### (4) 第2回研究会の概要

- 事務局から研究会意見のとりまとめ方について説明
- 事務局から愛知県水道用水供給事業の評価素案を説明
- 事務局説明内容に係る質疑応答

### (5) 第2回研究会結果

- 本日配布した愛知県水道用水供給事業評価（素案）について、各委員へ4月末日を目途に意見を頂くこととした。
- 事務局が提示した今後の地震防災対策や施設更新等の各分野別に次の質疑及び意見を頂いた。

#### 《地震防災対策、施設更新》

- ・地震防災対策の実施済み内容と、現時点で未整備となっている今後実施予定の内容の確認
- ・地震防災対策として予防としての施設耐震化に加え、被災時の復旧資機材の確保等状況の確認
- ・非常時における電力確保の観点から、自家発電設備の整備は早期に進めること
- ・管路更新の機会に併せて管路耐震化を図ること
- ・土木構造物はいずれ更新が必要となることから更新の進め方を検討すること
- ・浄水場耐震化よりも浄水場の土木構造物の更新を進めてはどうか

#### 《水質管理》

- ・原水水質が良いから水処理に大きな問題は生じていないが、今まで以上に水源の監視を重点的に進める必要があること
- ・水安全計画を既に詳細に策定しているが、その運用において水質管理をより充実すること
- ・浄水場返送水に起因する水質障害は、マンガンや臭気以外の物質等

も課題となる恐れがあることから重点的に取り組むこと

- ・ 今後の追加塩素注入設備設置の考え方について
- ・ 調整池等の藻類増殖について、浄水場側での水処理対応に加え、水道事業者として積極的な藻類増殖抑制対策が必要なこと

#### 《維持管理》

- ・ 受水団体との人事交流の有無の確認
- ・ 太陽光発電等の発電電力量と浄水場における電力需要量の確認
- ・ 受水団体側の水質管理などを通じて、県と受水団体との技術継承の必要があること
- ・ 職員の技術力の向上に加え、民間事業者の技術力向上のため県営水道側から働き掛けが出来ないか

#### 《その他》

- ・ 施設更新等を踏まえた長期的な経営の見通しが必要
- ・ 費用対効果分析における便益の計算内容を知りたい
- ・ 地震被災時に備え復旧資金を積み立てることが必要ではないか